

平成25年度

高知県学力定着状況調査結果の概要
速報版

平成26年2月

高知県教育委員会

平成25年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

本県の学力課題である小学校中学年の二極化、中1ギャップによる学力の低下に対応するために、小学校第4・5学年及び中学校第1・2学年の児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査の対象

(1) 小学校調査

市町村（学校組合）立小学校第4・5学年

(2) 中学校調査

市町村（学校組合）立中学校第1・2学年

県立中学校第1・2学年

◇小学校解答児童数

第4学年

国語 5,678人 算数 5,677人

第5学年

国語 5,847人 算数 5,846人 理科 5,848人

◇中学校解答生徒数

第1学年

国語 5,025人 社会 5,027人 数学 5,030人

理科 5,027人 外国語（英語） 5,024人

第2学年

国語 4,969人 社会 4,971人 数学 4,975人

理科 4,977人 外国語（英語） 4,968人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

(2) 内容

・基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題

・選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

平成26年1月9日（木）

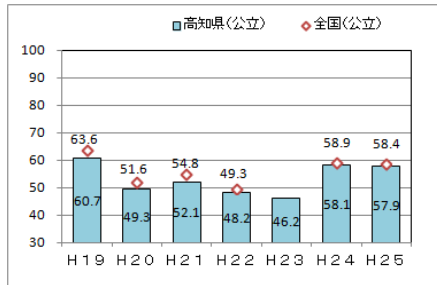


これまでの学力調査結果等から明らかになった本県の課題と高知県学力定着状況調査作成の意図

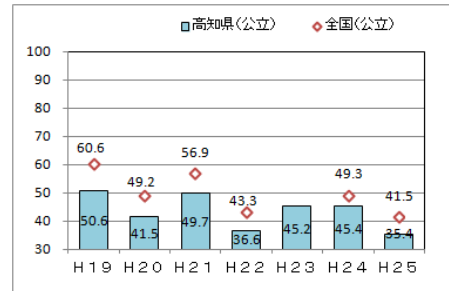
1 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

基礎的・基本的な知識・技能を活用することや思考したことを表現することに課題が見られる。

小学校算数B

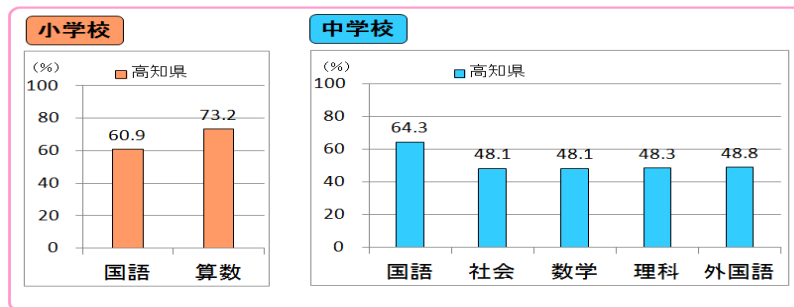


中学校数学B



2 平成24年度高知県学力定着状況調査結果

基礎的な知識・技能の定着は改善傾向にあるものの、知識・技能を実生活の場面に活用する力に課題が見られる。



小学校

- 国語 ◆文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえること
- 算数 ◆単位量当たりの大きさを比較し、どちらがお買い得かを説明すること

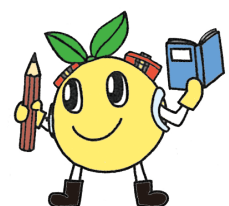
中学校

- 国語 ◆複数の情報を関連付けて、分かりやすく説明すること
- 社会 ◆様々な資料を分類・考察し、視点をもってまとめ、表現すること
- 数学 ◆与えられた事象における2つの数量の関係をとらえること
- 理科 ◆知識を活用して、実験方法を検討し、正しい実験方法を説明すること
- 外国語 ◆条件に基づいてまとまりのある文を書くこと
(英語)

★基礎基本の定着 ★記述式の問題への対応 ★思考力・判断力・表現力等を育む言語活動の充実

高知県学力定着状況調査 作成の意図

- 過去の調査問題における課題改善の取り組みの検証を図る問題
- 複数の情報を関連付けて理解・解釈する問題
- 資料や情報に基づいて自分の考えを表現する問題 等



※調査結果の詳細については、『平成24年度高知県学力定着状況調査結果の概要』を参照。

教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本
社会	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

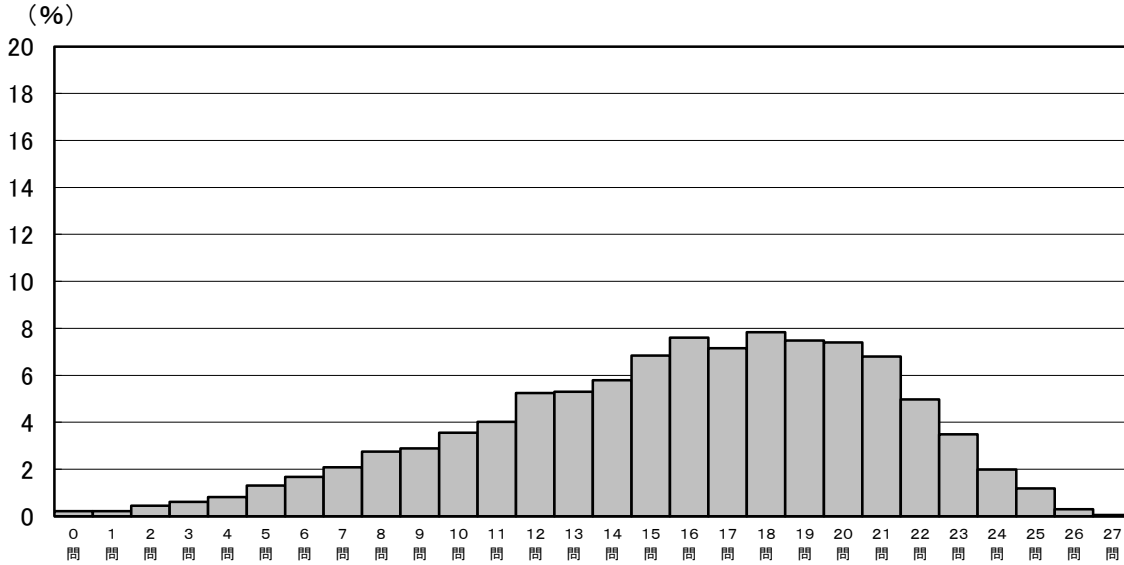
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

小学校第4学年 算数
【分類・区別の状況】

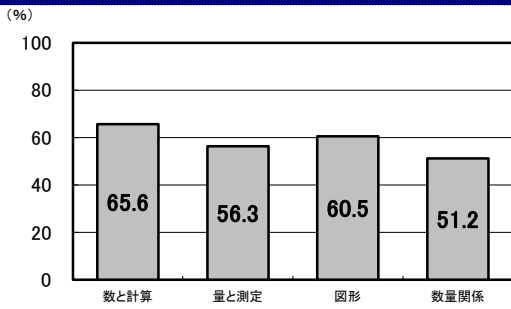
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,677	15.7 / 27	58.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.6
4問	0.8
5問	1.3
6問	1.7
7問	2.1
8問	2.7
9問	2.9
10問	3.6
11問	4.0
12問	5.2
13問	5.3
14問	5.8
15問	6.8
16問	7.6
17問	7.2
18問	7.8
19問	7.5
20問	7.4
21問	6.8
22問	5.0
23問	3.5
24問	2.0
25問	1.2
26問	0.3
27問	0.1

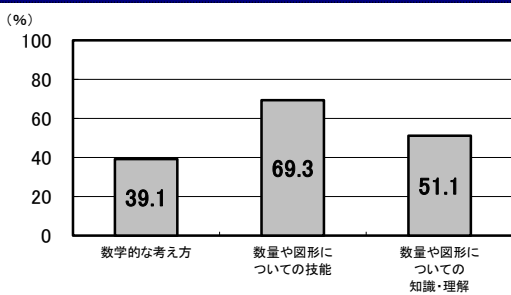
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



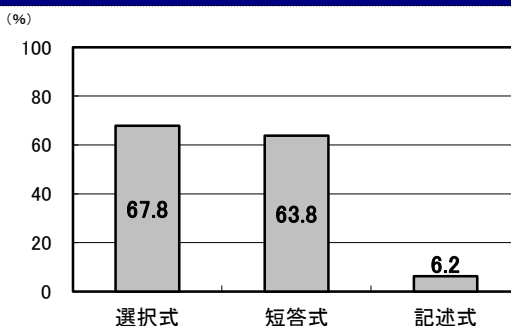
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○算数の平均正答率は58.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

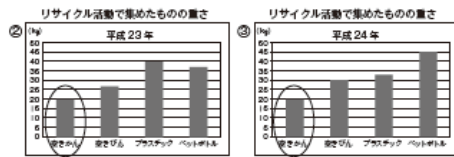
・グラフの特徴を基に、折れ線グラフと棒グラフを関連付けてとらえ、両者の違いを数学的に表現すること

[10(3) 正答率9.0%、無解答率38.5%]

(3) ゆかさんは、リサイクル活動で集めた「ア」について、平成22年から平成25年の間の重さの変化のようすを右のような折れ線グラフに表しました。そのグラフを見て、ひとみさんとけんじさんは、話をしています。

ゆかさんの表した折れ線グラフは、何の重さの変化のようすを表したグラフかしら。

ゆかさんの表した折れ線グラフの○の部分と、◎と◎のぼうグラフの○の部分を見ると、折れ線グラフは空きかんを表したものでないことがわかるよ。



けんじさんが、「空きかんを表したものでない」とおっしゃるのは、ゆかさんが表した折れ線グラフの○の部分の変わり方と、◎と◎のぼうグラフの○の部分の重さをくらべて、どのようなちがいがあるからですか。それぞれのグラフを見て、そのちがいを言葉や数を使って書きましょう。

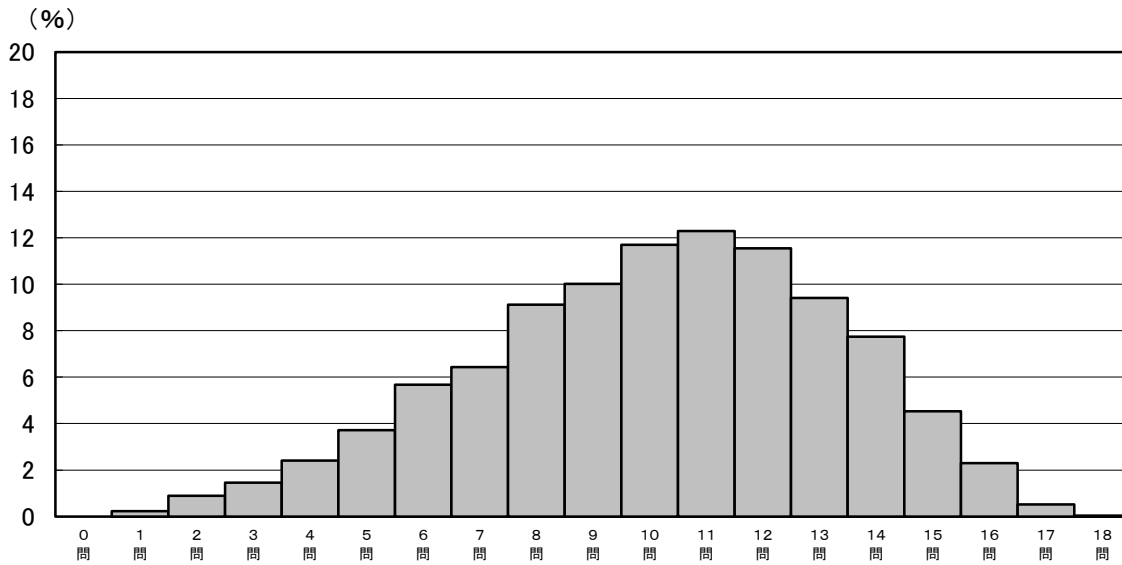
※学習シート等との関連
小学校4年算数シート No.16・17
変わり方をグラフに表そう(1)(2)

小学校第5学年 国語
【分類・区別の状況】

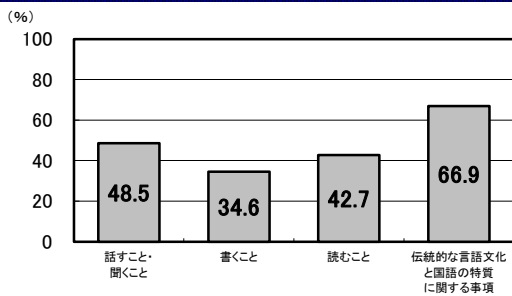
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,847	10.1 / 18	56.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.2
2問	0.9
3問	1.5
4問	2.4
5問	3.7
6問	5.7
7問	6.4
8問	9.1
9問	10.0
10問	11.7
11問	12.3
12問	11.5
13問	9.4
14問	7.7
15問	4.5
16問	2.3
17問	0.5
18問	0.0

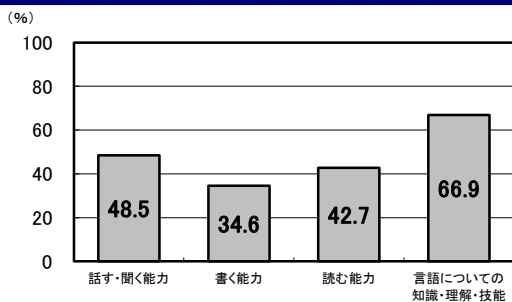
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



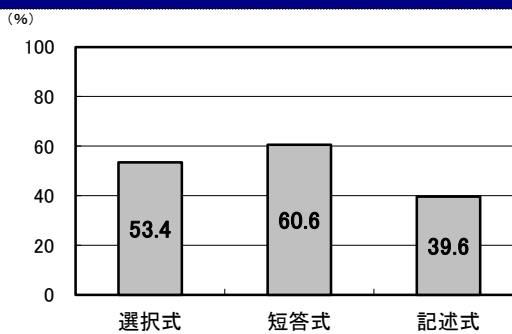
学習指導要領の領域・内容



評価の観点

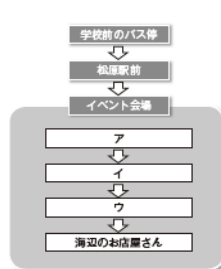


問題形式



○国語の平均正答率は56.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

・情報を関連付けながら必要な情報を収集・整理すること [9二 正答率35.9%、無解答率11.0%]



- 1 はがき作りコーナー
- 2 ビーサンビレッジ大会の参加申し込み
- 3 ビーサンビレッジ大会
- 4 砂浜ステージ

9

山下さんと川村さんは、五月に行われる町のイベントに参加したいと嬉しい、インターネットで調べています。二人が見つけた次の「イベント情報」の一部と、それを見ながら話している二人の会話を、あとの問いに答えましょう。

二人の会話

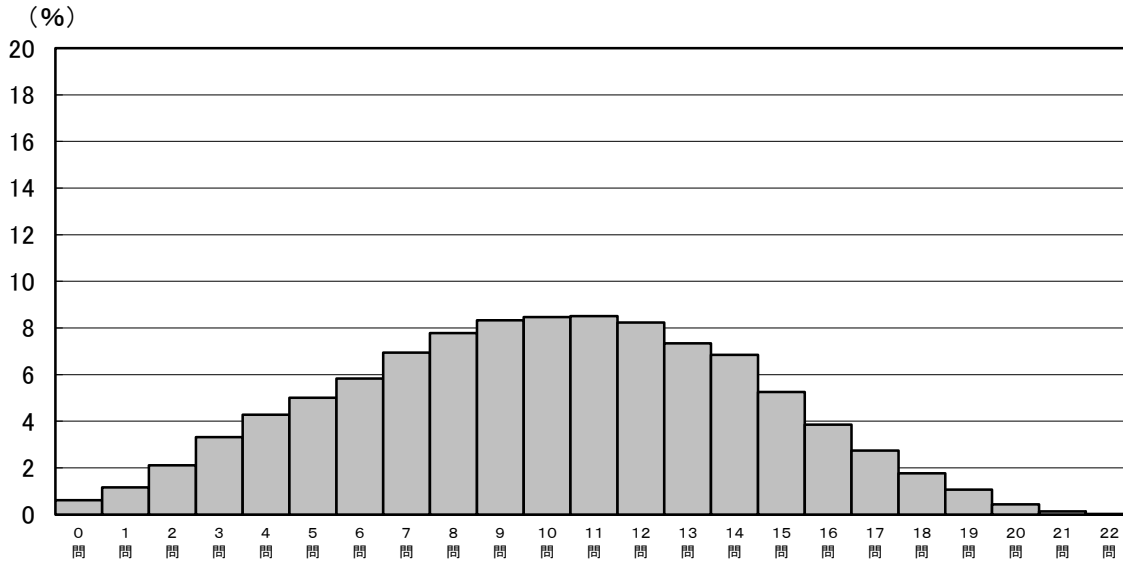
山下さん: いいですね。五月は、五月の連休で、お天気がいいので、お出かけしたいですね。川村さん: はい、私も。でも、五月は、五月の連休で、お天気がいいので、お出かけしたいですね。山下さん: はい、私も。でも、五月は、五月の連休で、お天気がいいので、お出かけしたいですね。川村さん: はい、私も。でも、五月は、五月の連休で、お天気がいいので、お出かけしたいですね。

小学校第5学年 算数
【分類・区別の状況】

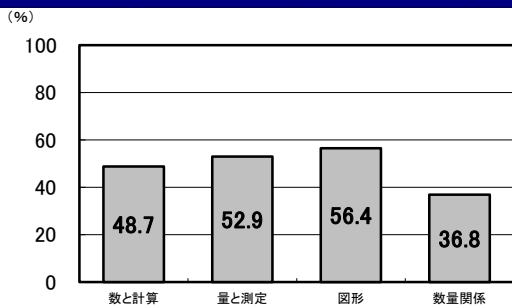
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,846	10.0 / 22	45.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.2
2問	2.1
3問	3.3
4問	4.3
5問	5.0
6問	5.8
7問	6.9
8問	7.8
9問	8.3
10問	8.5
11問	8.5
12問	8.2
13問	7.3
14問	6.8
15問	5.3
16問	3.8
17問	2.7
18問	1.8
19問	1.1
20問	0.4
21問	0.1
22問	0.0

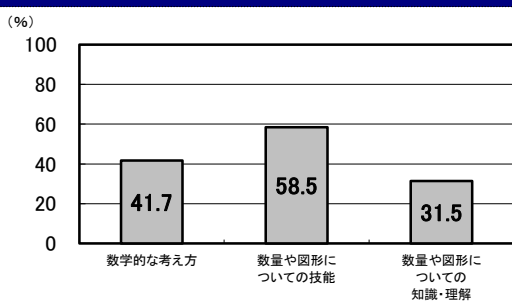
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



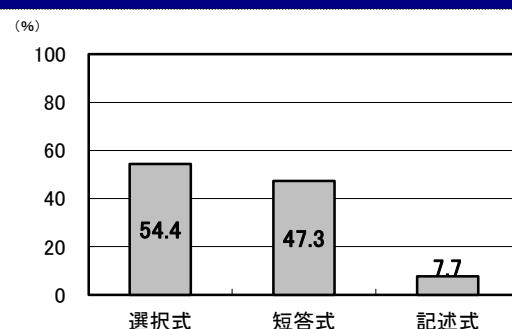
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○算数の平均正答率は45.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

・目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方
や結果について判断すること

【8(3)わけ 正答率12.3%、無解答率30.6%】

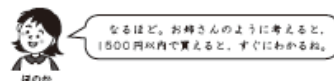
(3) ほのかさんとお輝さんは、1500円以内で買えるものを「店員おすすめはこちら」の中から選んで買ってくるようにし、お輝さんにたのまれて、9日(土)の午後2時に、お店に行きました。



二人は、カップケーキ2個、シュークリーム1個、マンゴプリン2個を買うことに決めました。

そこで、ほのかさんは1500円以内で買えるかどうかを考えました。

すると、お輝さんが、「こういうときは、それぞれの値段を200円、300円、400円と考えるといいのよ。そうすると、合計が1500円になるから、1500円以内で買えるかどうかを判断できるよ。」と言いました。



お輝さんは、どのような見積もりのしかたをして、「1500円以内で買える」と判断したのでしょうか。

お輝さんの見積もりのしかたと判断したわけを言葉と数を使って書きましよう。

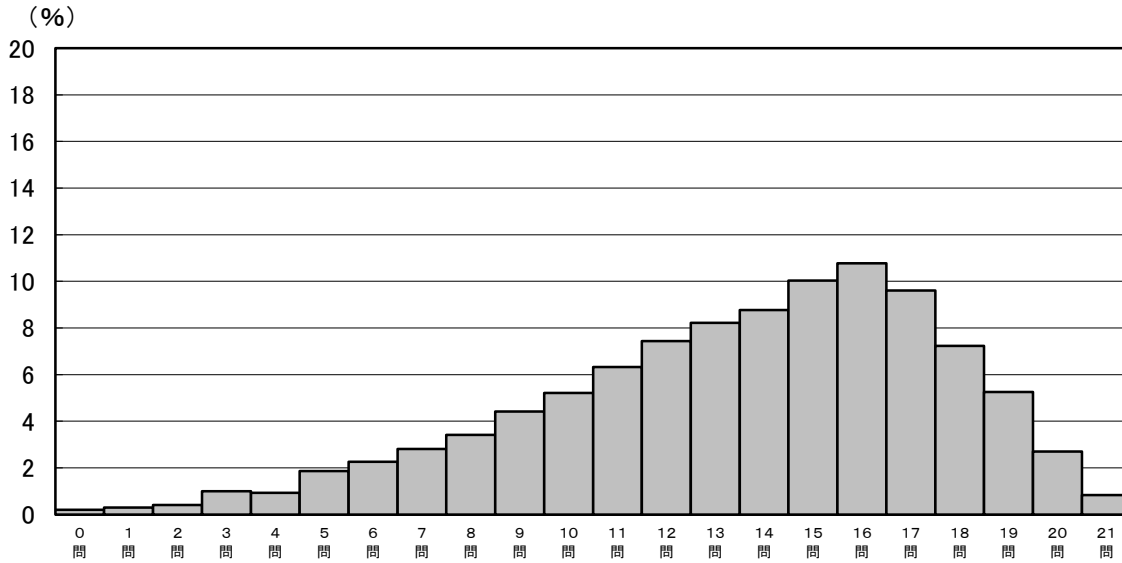
また、この日、ほのかさんとお輝さんは、何個のスタンプをおしてもらったのか、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 2個
- 2 3個
- 3 6個
- 4 9個

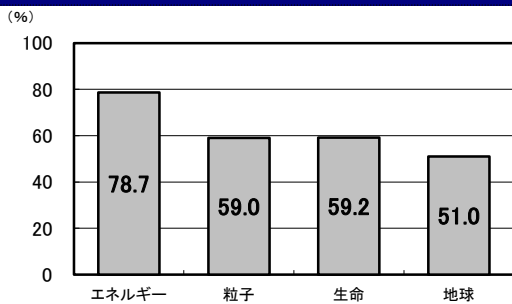
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,848	13.5 / 21	64.1

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	0.4
3問	1.0
4問	0.9
5問	1.9
6問	2.3
7問	2.8
8問	3.4
9問	4.4
10問	5.2
11問	6.3
12問	7.4
13問	8.2
14問	8.8
15問	10.0
16問	10.8
17問	9.6
18問	7.2
19問	5.2
20問	2.7
21問	0.8

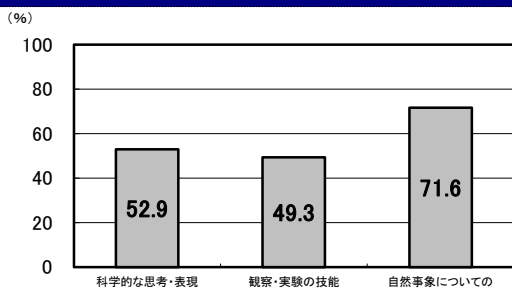
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



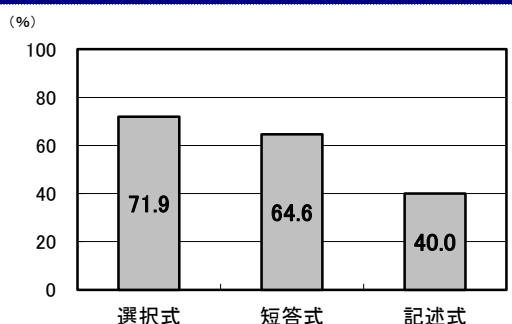
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○理科の平均正答率は、64.1%で、例えば、次のような課題が見られた。

・植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その改善した理由を記述すること

[1(5) 正答率 25.1%、無解答率 3.5%]

(5) 雄香さんは、おじいさんがメロンを育てている様子を見て、あることに気がつきました。

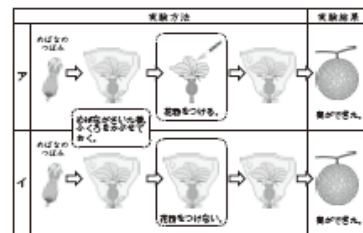


おじいさん、花は何をつけているの？

これは、花粉だよ。ここで育てているメロンには、実ができるように、花粉をめしべの光につけているんだよ。



雄香さんは、花粉がめしべの光につかないと実ができないことを確かめようと思い、下のような実験をしました。



※花粉をつけること以外の条件が、すべて同じになるように実験をしました。



花粉をつけなかったイのめばなにも実ができたよ。花粉をつけなくても実ができるのかな？

それはおかしいね。実験方法を見直して、もう一度やり直してみた方がいいよ。



雄香さんは、どのように実験をやり直せばよいでしょう。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだおけを書きましょう。

- 1 アイのめばなに、つぼみの中からふくろをかきおとす。
- 2 アイのめばなに、ふくろをかきおとさない。
- 3 アイのめしべの光に、花粉をつける。
- 4 アのめしべの光に花粉をつけ、アイのめばなのふくろをはずす。

※学習シート等との関連

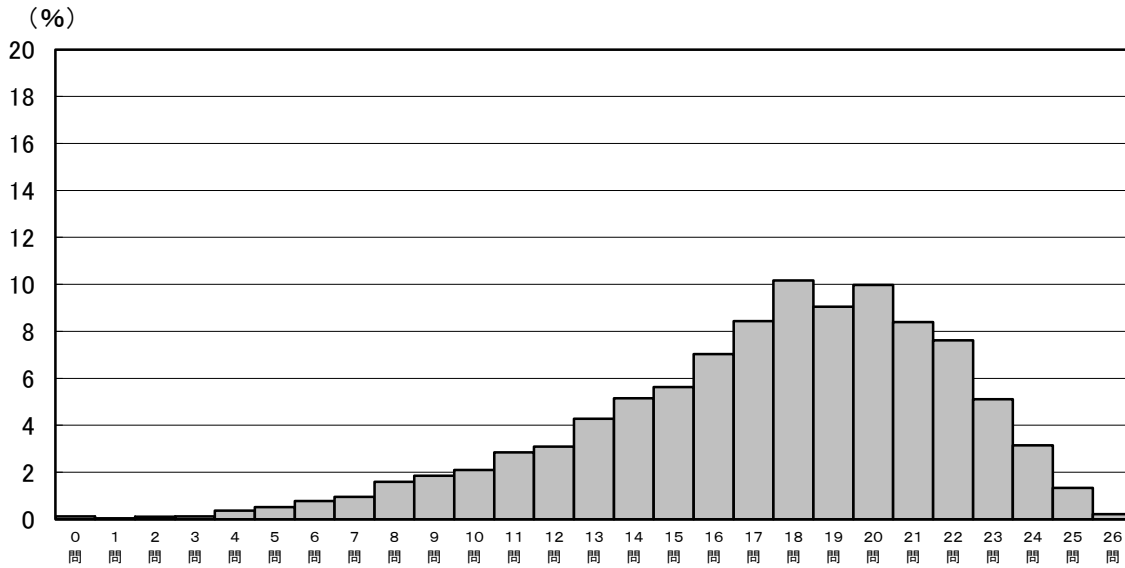
小学校5年 理科思考力問題集 小5-04

中学校第1学年 国語
【分類・区別の状況】

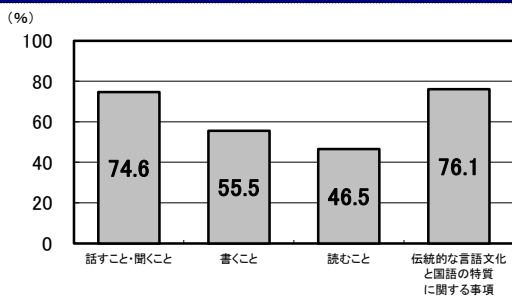
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,025	17.3 / 26	66.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.0
2問	0.1
3問	0.1
4問	0.4
5問	0.5
6問	0.8
7問	1.0
8問	1.6
9問	1.9
10問	2.1
11問	2.8
12問	3.1
13問	4.3
14問	5.2
15問	5.6
16問	7.0
17問	8.4
18問	10.2
19問	9.1
20問	10.0
21問	8.4
22問	7.6
23問	5.1
24問	3.1
25問	1.3
26問	0.2

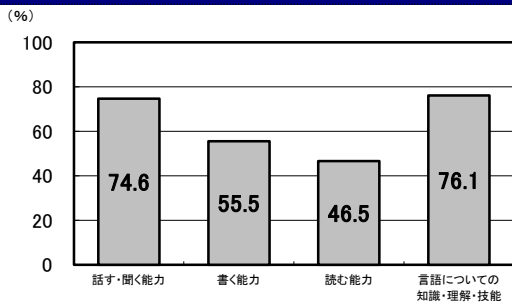
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



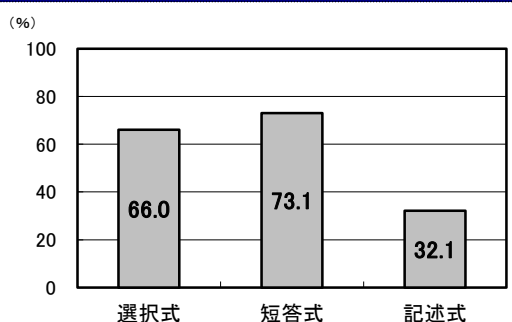
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○国語の平均正答率は66.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

・文章の内容と関連させ、自分の考えを根拠を明確にして書くこと

[10三 正答率22.5%、無解答率5.5%]

条件1 本を選んだ理由が、「動物の睡眠と暮らし」の内容と関連していること。
条件2 五十文字以上、七十文字以内で書き、理由を表す言葉を用いること。「〜から」「〜ため」など。
条件3 この「動物の睡眠と暮らし」の文章を読んだあとで、あなたがもう一冊本を読むとしたら、次の本を紹介した資料にある1から3のどの本を選びますか。(1)の本を選んでもかまいません。(2)の本を選んでもかまいません。(3)の本を選んだ理由を、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

【本を紹介した資料】

1 **BODY** 猫の身体構造
「BODY」の「猫」の身体構造を詳しく解説。猫のシステムや部分の名称、用語の解説に詳しい。目で、読みごたえ、奥ごたえ十分。かげがえのない私たちの体がとても大切に思えてくる一冊。

2 **言葉はなぜ生まれたのか**
なぜ、人間だけが「ことば」を使うのだろう。こんな疑問を、科学的に証明するためには、どうしたらいいのでしょうか。

3 **目で見る進化** ダーウィンからDNAまで
染色体、DNA、遺伝子... いったいどう違うの? 疑問をよみがえらせることはできるの? 人類の未来を予想してみませんか?

高知県教育委員会発行「きつとあるキミの心にひびく本」による

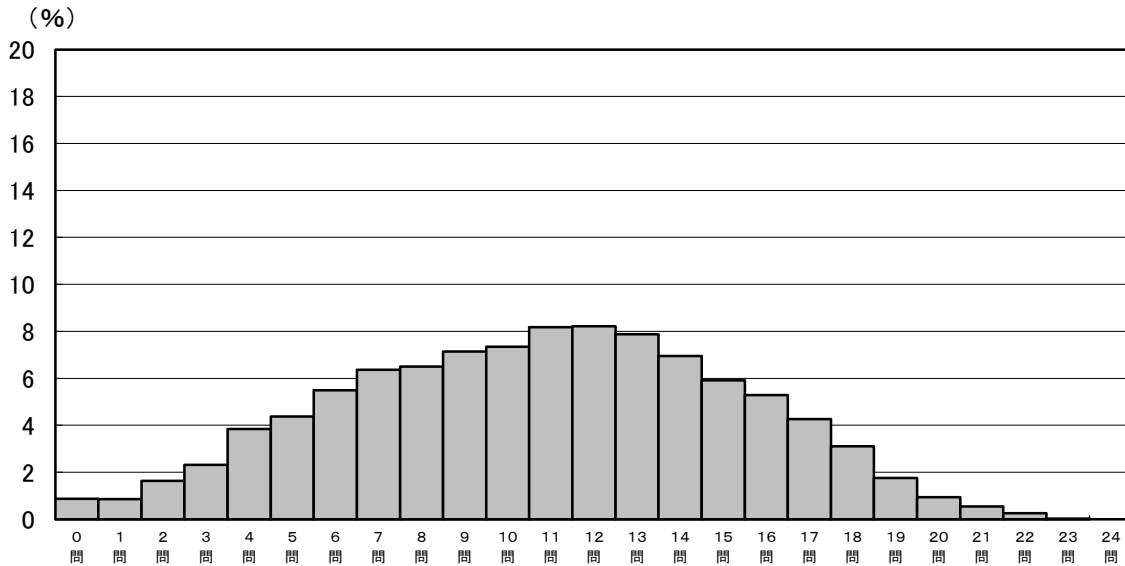
※学習シート等との関連
国語学習シート No.4・23・45・66・67

中学校第1学年 社会
【分類・区別の状況】

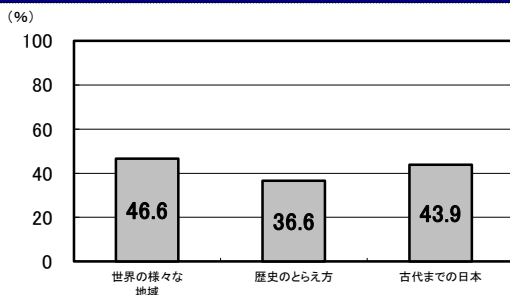
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,027	10.7 / 24	44.8

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	0.9
2問	1.6
3問	2.3
4問	3.8
5問	4.4
6問	5.5
7問	6.4
8問	6.5
9問	7.1
10問	7.3
11問	8.2
12問	8.2
13問	7.9
14問	6.9
15問	5.9
16問	5.3
17問	4.3
18問	3.1
19問	1.8
20問	0.9
21問	0.5
22問	0.3
23問	0.0
24問	0.0

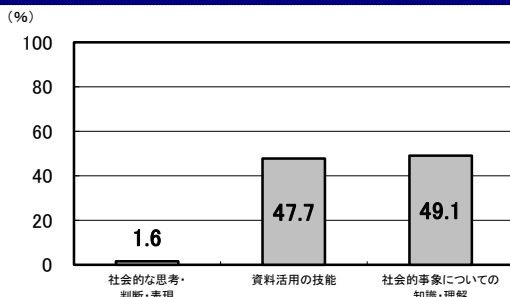
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



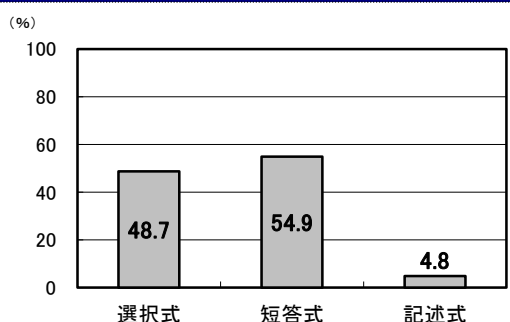
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○社会の平均正答率は44.8%で、例えば、次のような課題が見られた。

・世界の気候や自然環境などの分布を表した資料を基に、気候に影響を与えるものについて考察すること
[3 正答率2.9%、無解答率16.4%]

3 山口さんは、3ページの【世界の気候帯の分布】を見て、(気がついたこと)や(疑問に思ったこと)から調べたいことを【ノート】に整理しました。そして、集めた資料の【資料Ⅰ】から【資料Ⅲ】を使って分かったことをまとめています。山口さんが調べたかったことは、どのようなことですか。集めた資料から分かったことの②に当てはまる言葉を、裏面に書きなさい。

集めた資料

【資料Ⅰ】 ロンドンと札幌の月別平均気温 (1951年～2010年の平均値) (℃)

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
ロンドン	5.8	6.2	6.9	10.5	13.9	17.6	18.7	18.5	16.2	12.4	6.5	5.7	11.8
札幌	-10.8	-13.1	6.9	7.1	12.4	18.7	20.5	22.3	18.1	11.8	4.8	-0.9	8.9

【資料Ⅱ】 コーコッパ海周辺の気流と風の流れ

【資料Ⅲ】 日本周辺の気流と風の流れ

集めた資料から分かったこと

【資料Ⅰ】の表から、
② ことが分かる。

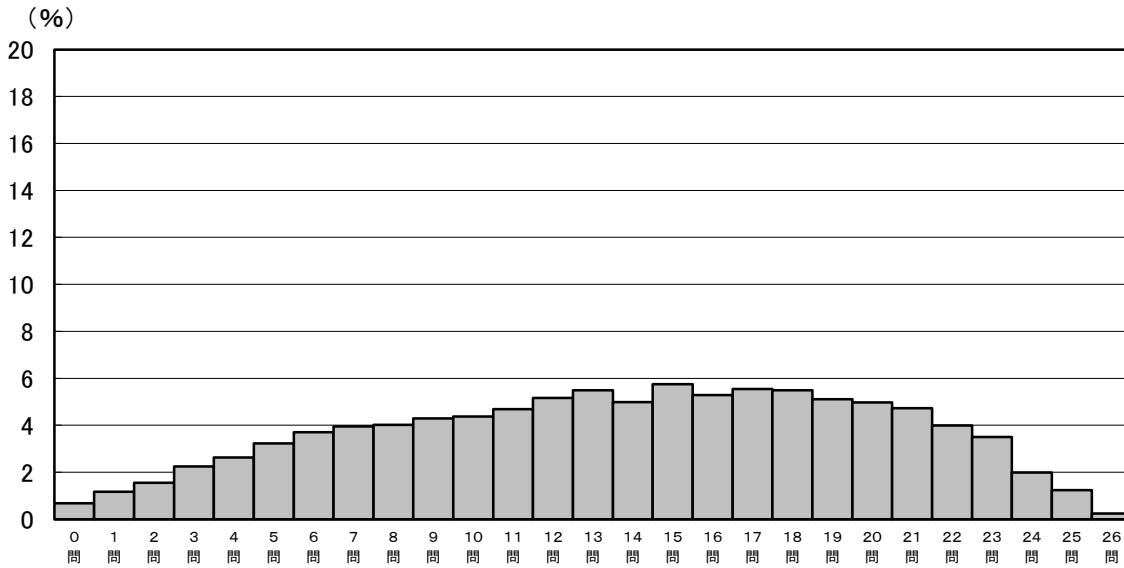
それは、【資料Ⅱ】、【資料Ⅲ】を見ると、ロンドンは、北西の大西洋と北西風の影響を受け、札幌は、東流のオホシベリヤ海流と季節風の影響を受けているからである。

このことから、緯度の異なる以外に海流や風が気候に影響を与えていると考えられる。

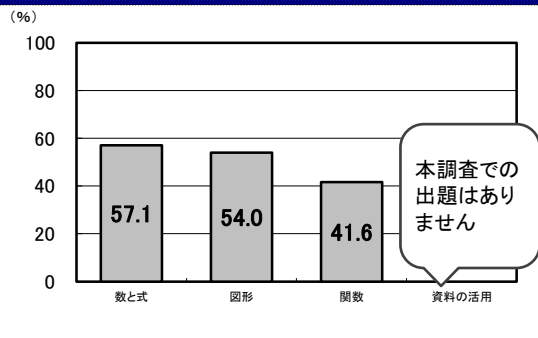
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,030	13.7 / 26	52.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.7
1問	1.2
2問	1.6
3問	2.2
4問	2.6
5問	3.2
6問	3.7
7問	4.0
8問	4.0
9問	4.3
10問	4.4
11問	4.7
12問	5.2
13問	5.5
14問	5.0
15問	5.7
16問	5.3
17問	5.5
18問	5.5
19問	5.1
20問	5.0
21問	4.7
22問	4.0
23問	3.5
24問	2.0
25問	1.2
26問	0.2

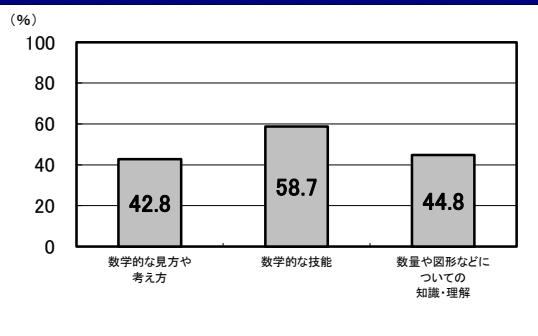
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



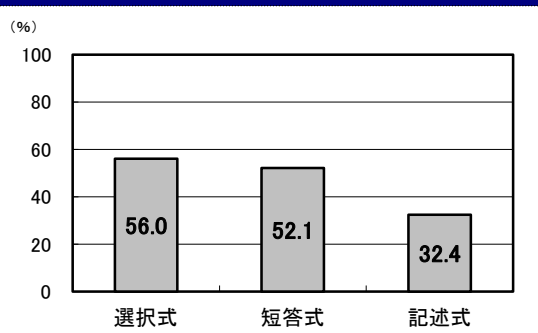
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



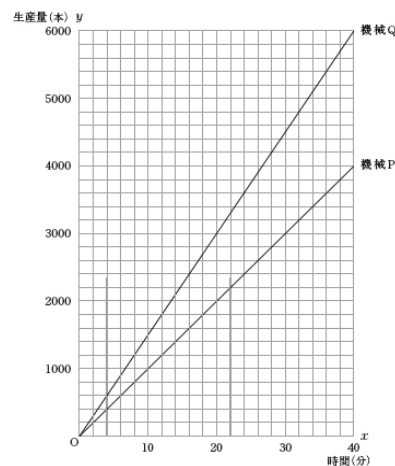
○数学の平均正答率は52.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

【6(3) 正答率32.4%、無解答率27.0%】

6 ある会社では、海洋深層水から飲料水をつくっています。この会社には海洋深層水からペットボトル飲料を生産する2種類の機械P、Qがあります。2種類の機械P、Qについて、ペットボトル飲料を生産するときの時間と生産量の関係を、下のように表とグラフに表しました。x分間に生産するペットボトル飲料の数をy本として、次の(1)から(3)の各問に答えなさい。

時間(分)	0	10	20	30	40	...
機械Pで生産されるペットボトル(本)	0	1000	2000	3000	4000	...
機械Qで生産されるペットボトル(本)	0	1500	3000	4500	6000	...



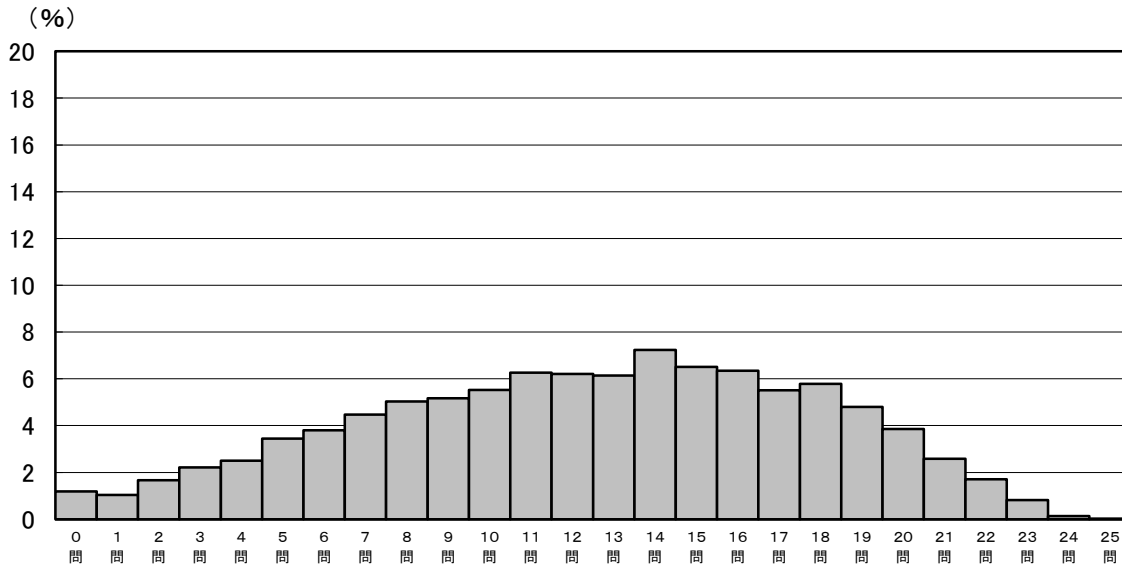
(3) 機械Qにおいて、ダンボール100ケース(ペットボトル飲料2400本)を生産しました。このときの生産にかかる時間を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

※学習シート等との関連
全国学力・学習状況調査数学B問題集
17-2C-19-5、25-2C-25-3

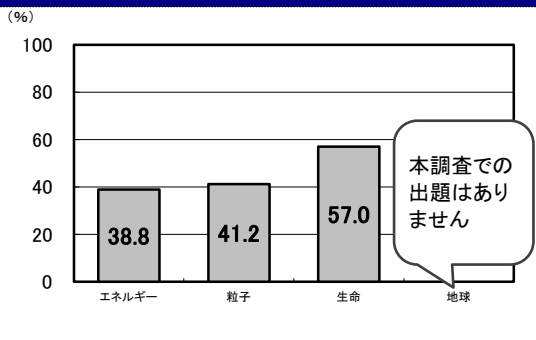
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,027	12.4 / 25	49.6

正答数 (割合(%))	
0問	1.2
1問	1.0
2問	1.7
3問	2.2
4問	2.5
5問	3.4
6問	3.8
7問	4.5
8問	5.0
9問	5.2
10問	5.5
11問	6.3
12問	6.2
13問	6.1
14問	7.2
15問	6.5
16問	6.3
17問	5.5
18問	5.8
19問	4.8
20問	3.9
21問	2.6
22問	1.7
23問	0.8
24問	0.1
25問	0.0

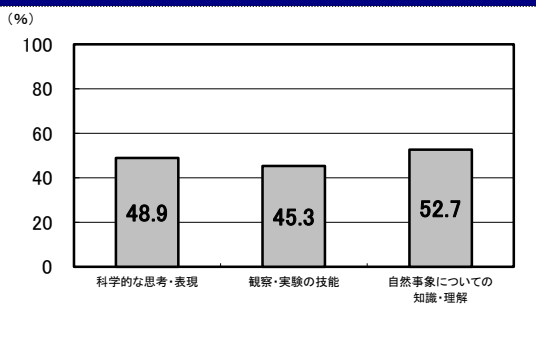
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



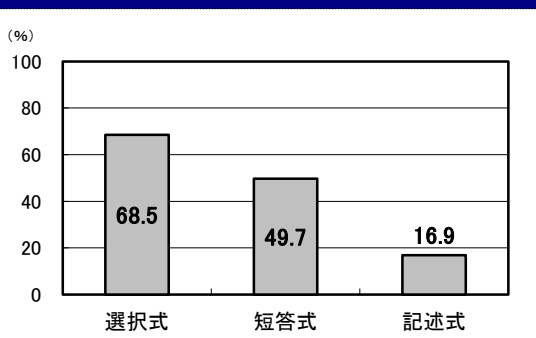
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○理科の平均正答率は49.6%で、例えば、次のような課題が見られた。

・身の回りの物質の性質を基に、それらの性質に着目して物質を分類すること

[2(1) 正答率29.2%、無解答率17.0%]

② 良太さんは、理科の授業で、「いろいろな物質を区別する方法を考えよう」という課題に取り組んでいます。先生が【準備した物質】は、下のとおりです。次の(1)から(5)の各問に答えなさい。

【準備した物質】

砂糖、ポリプロピレン、鉄、ポリエチレンテレフタレート、食塩、アルミニウム、銅、小麦粉

最初に、良太さんは先生が準備した物質の名称をヒントに、8種類の物質を次の3つに分類しました。

・白い粉…砂糖、食塩、小麦粉
・金属…銅、鉄、アルミニウム
・プラスチック…ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート

そこで、良太さんはこれまでに学習した、白い粉(砂糖、食塩、小麦粉)の性質をまとめた表1を使って、3種類の物質を区別しようと考えました。

表1 砂糖、食塩、小麦粉の性質

方法	物質名	砂糖	食塩	小麦粉
色をみる		白	白	白
ルーペで観察する	結晶が見える	結晶が見える	結晶が見える	結晶が見えない
においをかぐ		ない	ない	ない
水に少量とかす		とける	とける	とけない
加熱した結果をみる		こげて炭になる	変わらない	こげて炭になる

実験1 良太さんは、表1の方法の中から2つを選んで実験を行い、白い粉をそれぞれ砂糖、食塩、小麦粉に区別しました。

(1) あなたなら、どのようにして白い粉を砂糖、食塩、小麦粉に区別しますか。表1の方法の中から2つ選んで、区別するための方法とその結果がわかるように書きなさい。

※学習シート等との関連

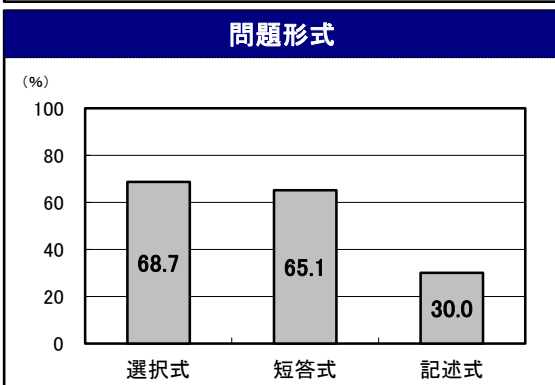
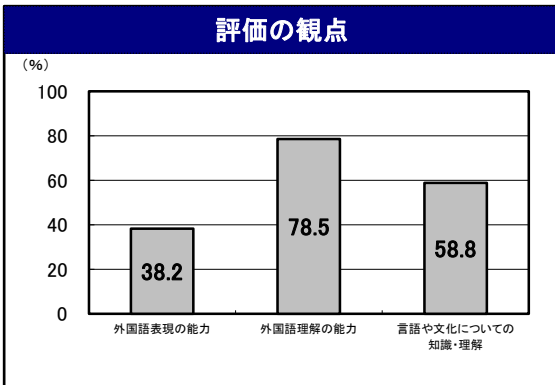
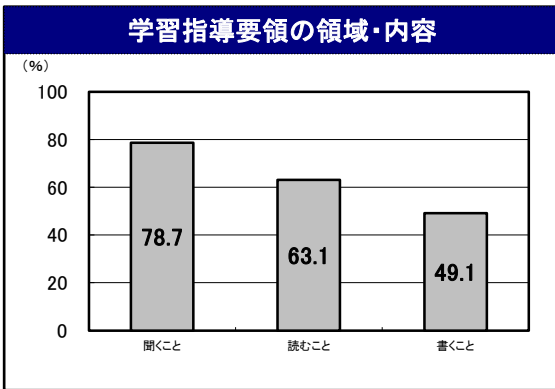
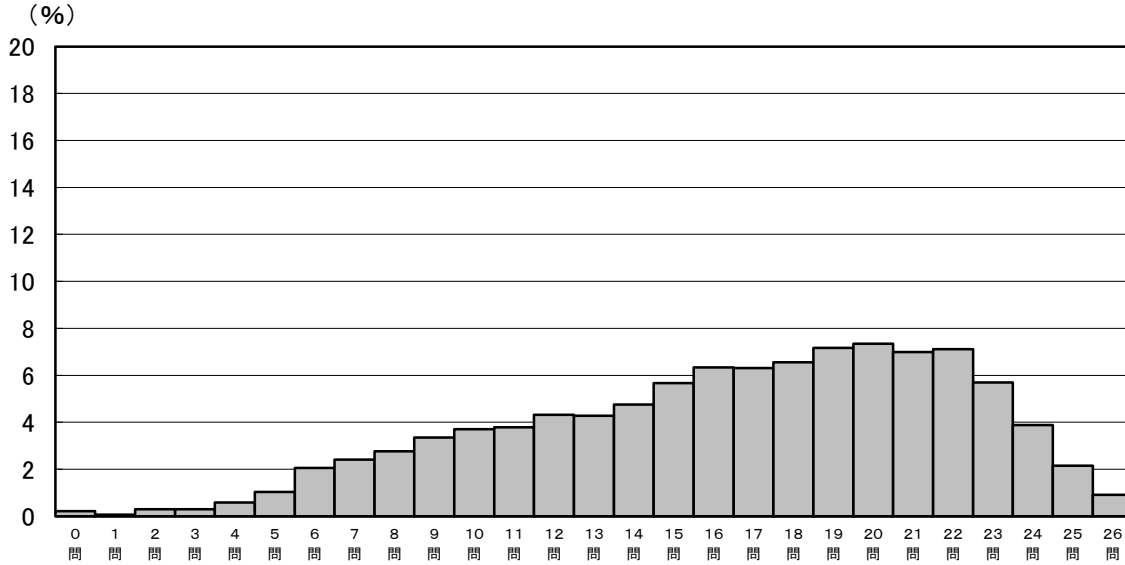
中学1年 高知県理科思考力問題集 中1-03

中学校第1学年 外国語(英語)
【分類・区別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,024	16.4 / 26	63.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.1
2問	0.3
3問	0.3
4問	0.6
5問	1.0
6問	2.1
7問	2.4
8問	2.8
9問	3.3
10問	3.7
11問	3.8
12問	4.3
13問	4.3
14問	4.8
15問	5.7
16問	6.3
17問	6.3
18問	6.5
19問	7.2
20問	7.3
21問	7.0
22問	7.1
23問	5.7
24問	3.9
25問	2.1
26問	0.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○外国語(英語)の平均正答率は63.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

・資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書くこと

①②③
 正答率①31.1%、無解答率①14.3%
 ②33.6%、②18.3%
 ③25.4%、③19.3%

⑩ 山田さんと田中さんは、留学生のナンシー(Nancy)に、自己紹介をするようになりました。下は、山田さんと田中さんの【自己紹介メモ】です。あなたは、2人のうち、どちらか1人を選び、その人自身になったつもりで自己紹介をするとして、どのように自己紹介をしますか。解答用紙にある「選んだ人」の2人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その選んだ人について【自己紹介メモ】の①から③について、それぞれ英語で書き、【自己紹介文の原稿】を完成させなさい。 ●●●

【自己紹介メモ】

山田 恵里 Yamada Eri ・高知出身 ・動物が好き……………① ・犬を一匹飼っている……………② ・①、②に関連したことを、ナンシーに対して質問する(例えば、動物や犬に関連して質問する英文)……………④		田中 明 Tanaka Akira ・高知出身 ・国語が好き……………① ・毎日、本を読む……………② ・①、②に関連したことを、ナンシーに対して質問する(例えば、国語や本を読むことに関連して質問する英文)……………③	
--	--	--	--

【自己紹介文の原稿】

選んだ人	山田 恵里 (Yamada Eri) ・ 田中 明 (Tanaka Akira) <small>※選んだ人を○で囲みなさい。</small>
Hello, Nancy. My name is (Yamada Eri または Tanaka Akira). I'm from Kochi. ① _____ ② _____ ③ _____	

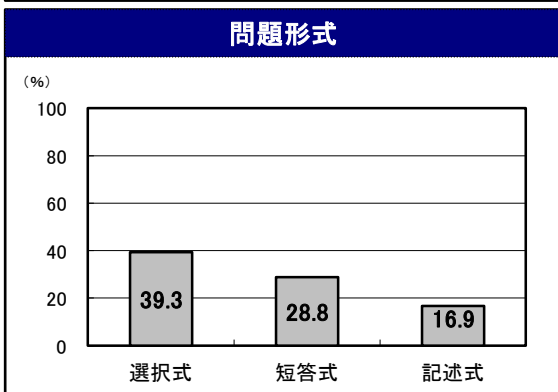
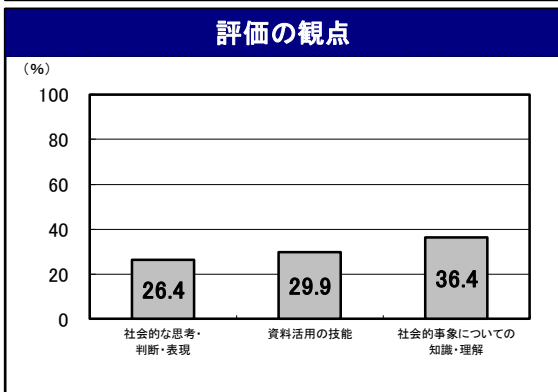
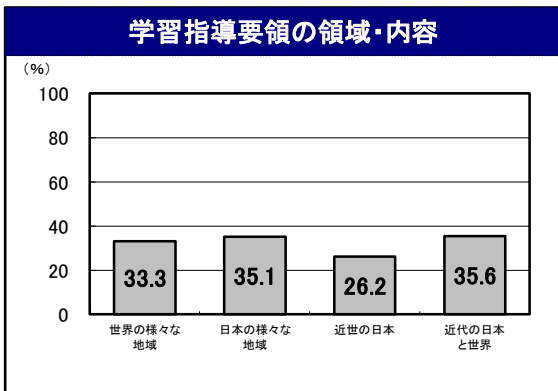
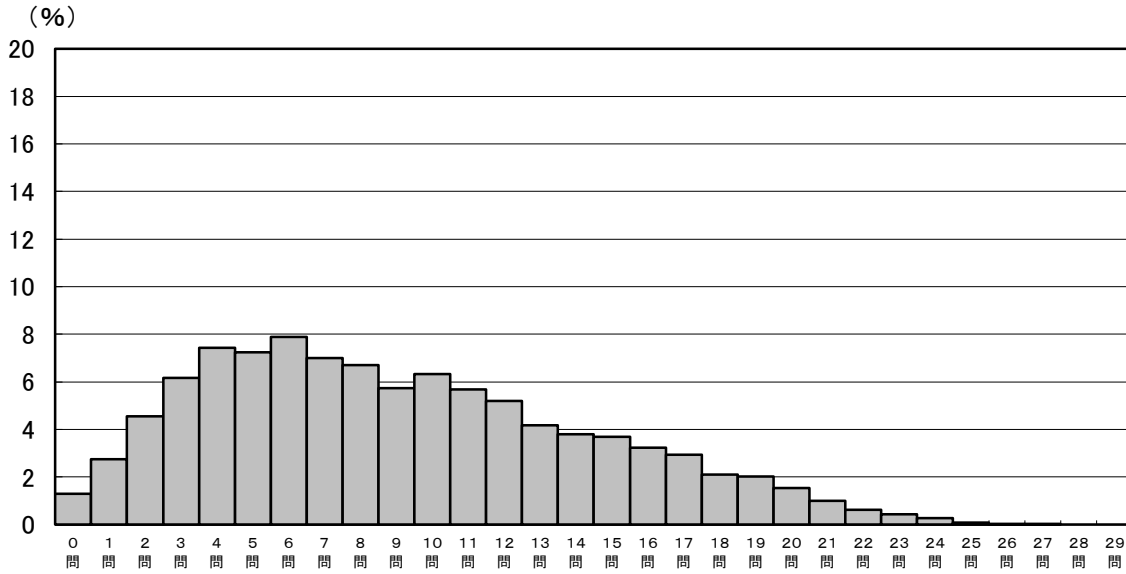
※解答は、必ず解答用紙に書きなさい。

※学習シート等との関連
 英語ライティングシート Ⅲテーマ作文編

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,971	9.1 / 29	31.5

正答数 (割合(%))	
0問	1.3
1問	2.8
2問	4.6
3問	6.2
4問	7.4
5問	7.2
6問	7.9
7問	7.0
8問	6.7
9問	5.7
10問	6.3
11問	5.7
12問	5.2
13問	4.2
14問	3.8
15問	3.7
16問	3.2
17問	2.9
18問	2.1
19問	2.0
20問	1.5
21問	1.0
22問	0.6
23問	0.4
24問	0.3
25問	0.1
26問	0.0
27問	0.0
28問	0.0
29問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○社会の平均正答率は31.5%で、例えば、次のような課題が見られた。

・人口減少を抑える取り組みについて、資料から考察し、視点をもってまとめ、表現すること

〔 5(2)正答率う28.6%、無解答率う27.9%
え33.6%、え29.3% 〕

- 5 小松さんは、下の【新聞記事】を読んで、人口減少について関心をもち、自分の住む四国地方について調べることになりました。次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。
- (2) 小松さんは、インターネットで各市町村の取り組みと現状を調べ、A町とB市の人口減少を抑える取り組みについて、調べたこと①に整理しました。その2つの取り組みから、それぞれの地域に定住し生活するための支援について、2つの視点でまとめました。下のまとめ②、③に当てはまる言葉を文章中に書きなさい。◎◎

調べたこと①

市町村の人口減少を抑える取り組みと現状

	(A町の取り組み)		(B市の取り組み)	
・地元にあるもみじや石を料理に活かす「つまもの」として販売する会社をつくり、農家の高齢者が農協と協力して、収穫、運搬、出荷、販売を行う。	・地元の会社で、企業体験できる施設をつくり、探検者につながる取り組みを進める。		・「わがわが住みたい」をキャッチフレーズに7つの支援策で移住者をバックアップする。	
・町外からの移住者のために住宅などを提供している。			・空き家情報などのきめ細かい支援制度を紹介する。	
			・高齢や農業者の自立を目指す希望者を支援し、仕事を確保する制度を整える。	

(現状)

・「つまもの」の観光が主要産業として成長した。自分の住む地域に、自信をもって生活している。

・町外の若者がIターンで移住してきている。

(移住者数実績)		2013.2.1現在					
性別	年齢	2006	2008	2010	2011	2012	計
男性	20代	12	33	31	64	80	210 (男)
女性	20代	5	5	3	13	10	44 (男)
男性	30代	5	6	4	35	42	82 (女)

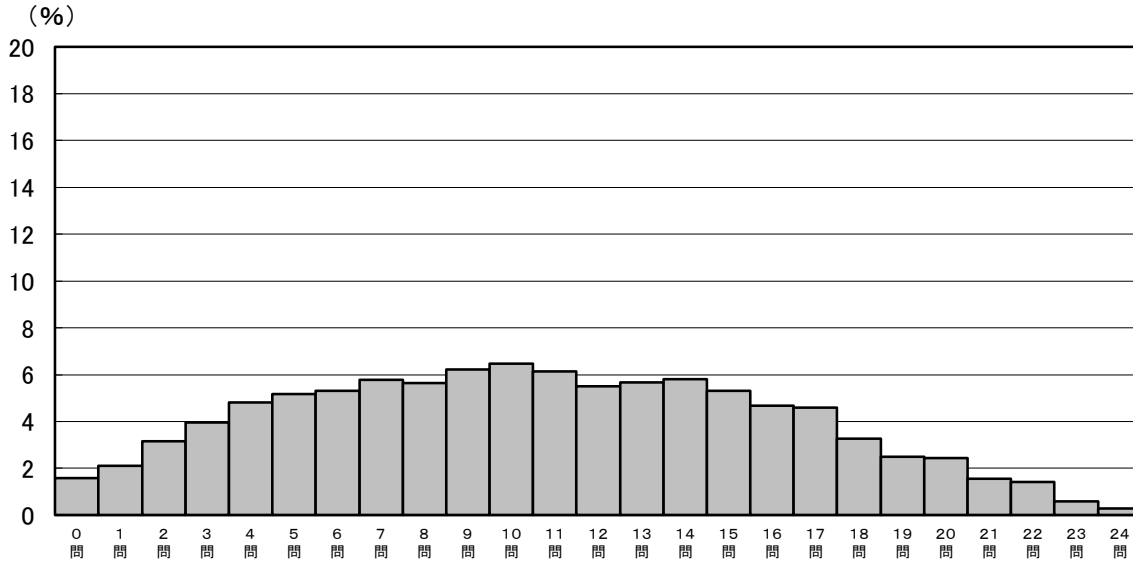
まとめ

A町、B市の取り組みから、それぞれの地域に定住し生活するための支援としては、②や③が、効果的であると考えられる。

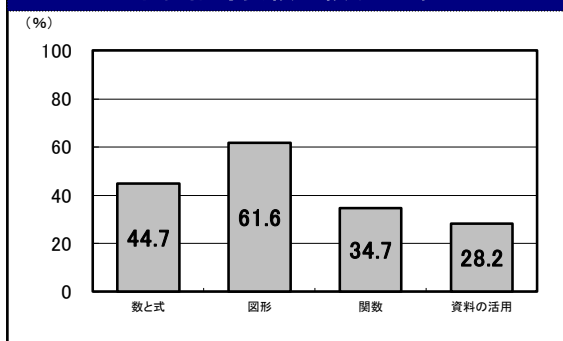
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,975	10.6 / 24	44.4

正答数 (割合(%))	
0問	1.6
1問	2.1
2問	3.2
3問	4.0
4問	4.8
5問	5.2
6問	5.3
7問	5.8
8問	5.6
9問	6.2
10問	6.5
11問	6.1
12問	5.5
13問	5.7
14問	5.8
15問	5.3
16問	4.7
17問	4.6
18問	3.3
19問	2.5
20問	2.4
21問	1.6
22問	1.4
23問	0.6
24問	0.3

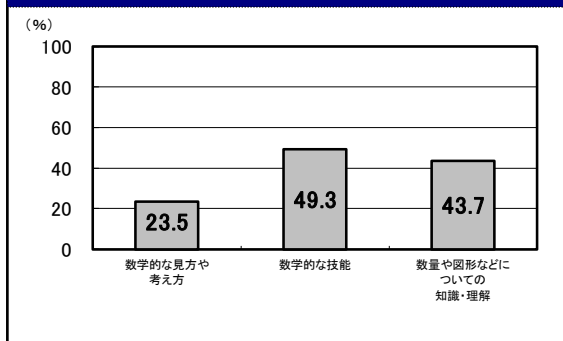
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



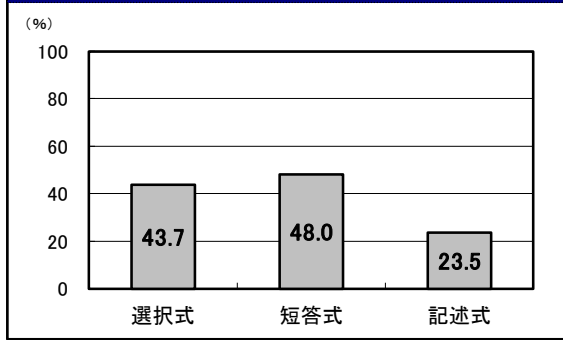
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○数学の平均正答率は44.4%で、例えば次のような課題が見られた。

- ①数量の関係や法則などを文字式で表すこと
- ②事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明すること

〔 6(3)正答率①30.9%、無解答率①31.6%
②21.4%、②40.0% 〕

(3) 一平さんは、同じように連続する5つの自然数の和がどんな数になるかを考えてみたいと思い、いくつかの場合を調べました。

- 1, 2, 3, 4, 5 のとき $1+2+3+4+5=15$
- 2, 3, 4, 5, 6 のとき $2+3+4+5+6=20$
- 3, 4, 5, 6, 7 のとき $3+4+5+6+7=25$
- 4, 5, 6, 7, 8 のとき $4+5+6+7+8=30$

このことから、連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を偶数や奇数として考え、次のような予想を立てました。

一平さんの予想

連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を偶数としたとき、連続する5つの自然数の和は、10の倍数になる。

この予想がいつでも成り立つことを説明しました。前のページの健二さんの説明を参考に、①、②に当てはまる式や言葉を書き、説明を完成させなさい。

一平さんの説明

n を自然数とするとき、
連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を $2n$ とすると、
連続する5つの自然数は、①と表される。
それらの和は、

②

したがって、連続する5つの自然数の最も小さい数を偶数としたとき、連続する5つの自然数の和は、10の倍数になる。

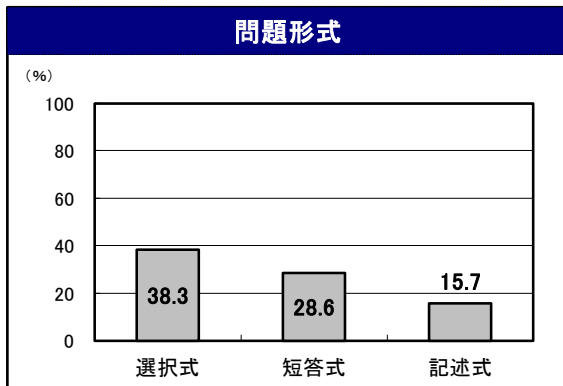
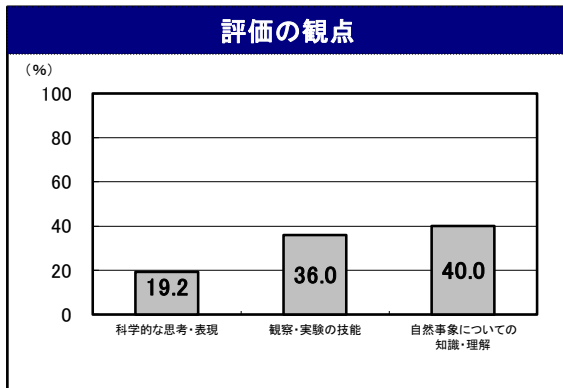
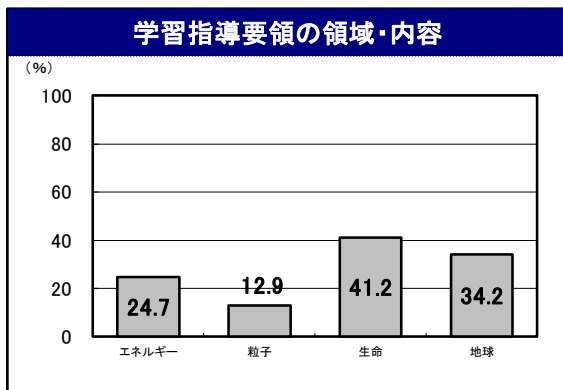
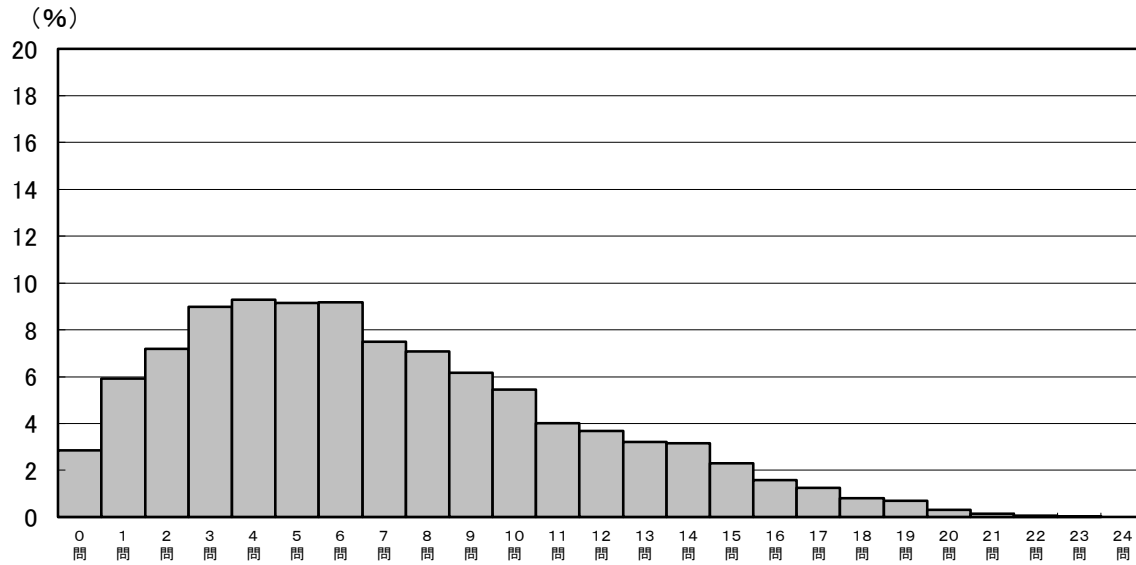
※学習シート等との関連

中学2年単元チェック単元1大問5
全国学力・学習状況調査B問題集
07-2A-19-2、10-2A-21-2、11-2A-22-2、
12-2A-23-2、14-2A-24-2

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,977	7.0 / 24	29.1

正答数 (割合(%))	
0問	2.9
1問	5.9
2問	7.2
3問	9.0
4問	9.3
5問	9.1
6問	9.2
7問	7.5
8問	7.1
9問	6.2
10問	5.4
11問	4.0
12問	3.7
13問	3.2
14問	3.2
15問	2.3
16問	1.6
17問	1.2
18問	0.8
19問	0.7
20問	0.3
21問	0.2
22問	0.1
23問	0.0
24問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○理科の平均正答率は29.1%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察すること
- ・火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、根拠を示して、改善した考察を説明すること

〔 3(3)記号 正答率 23.1%、無解答率 5.3%
理由 正答率 2.7%、無解答率29.3% 〕

(3) 火山活動が活発だった時期の回数は、少なくとも何回と考えられますか。最も適切なものを下のアからオまでの中から1つ選び、その記号を書きなさい。また、回数をそのように考えた理由を、図4をもとにして書きなさい。

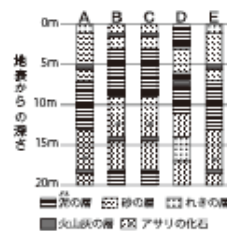


図2

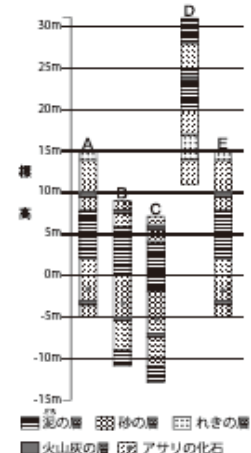


図4

ア 2回 イ 3回 ウ 4回 エ 5回 オ 7回

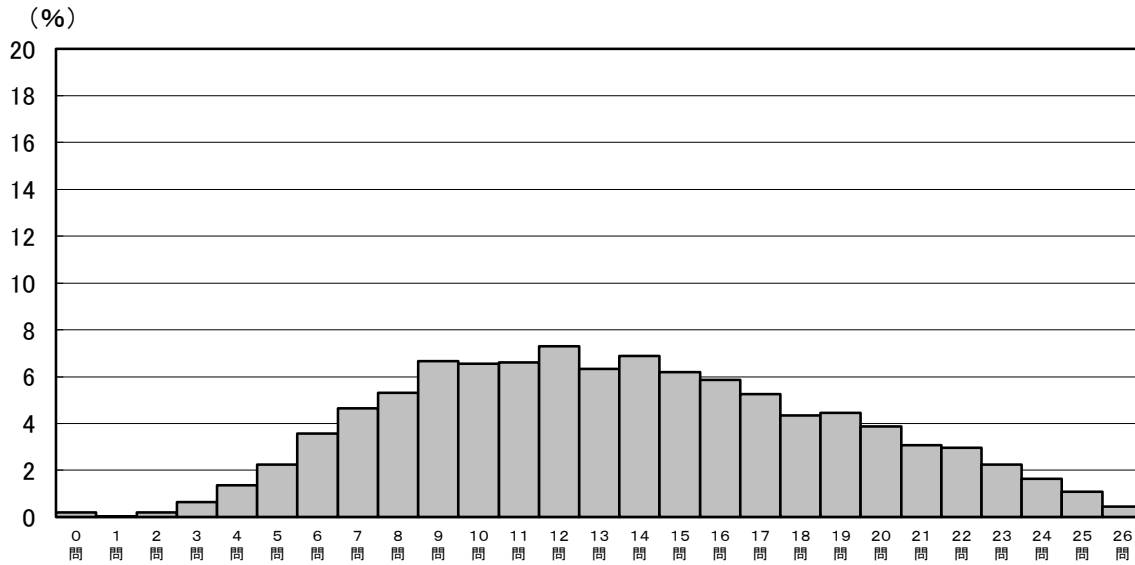
※学習シート等との関連

中学1年 高知県理科思考力問題集 中1-10

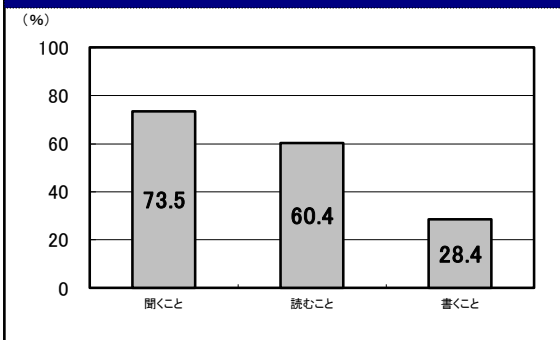
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,968	13.6 / 26	52.1

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.0
2問	0.2
3問	0.6
4問	1.4
5問	2.2
6問	3.6
7問	4.6
8問	5.3
9問	6.7
10問	6.5
11問	6.6
12問	7.3
13問	6.3
14問	6.9
15問	6.2
16問	5.9
17問	5.3
18問	4.3
19問	4.4
20問	3.9
21問	3.1
22問	3.0
23問	2.2
24問	1.7
25問	1.1
26問	0.4

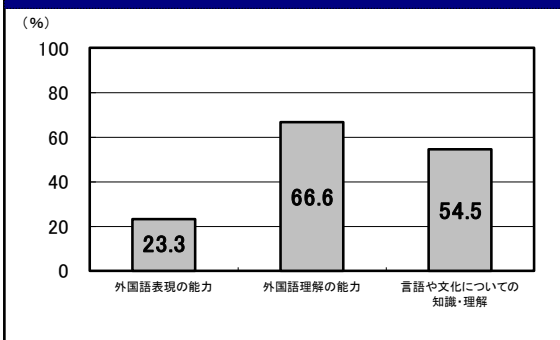
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



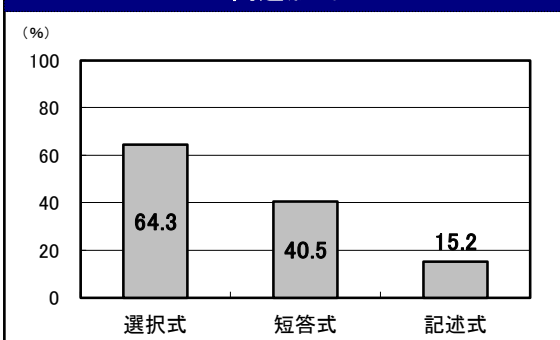
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○外国語(英語)の平均正答率は52.1%で、例えば、次のような課題が見られた。

・資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書くこと

11(1)(2)(3)
正答率(1)26.8%、無解答率(1)16.2%
(2)12.3%、無解答率(2)20.2%
(3)9.9%、無解答率(3)23.3%

11 あなたの学校では、英語の授業で、新しいALTのジェーン(Jane)先生に学級の友だちを紹介することになりました。下の【メモ】は、3人の友だちのことを簡単に紹介したものです。3人のうち、1人を選んで紹介するとしたら、どのように紹介しますか。解答用紙にある「紹介する友だち」の3人のうち、1人を選んで○で読みなさい。また、その友だちのことを紹介する【メモ】(1)から(3)についてそれぞれ英語で書き、【発表原稿】を完成させなさい。

【メモ】

健太(Kenta)の紹介
(1)好きな教科 : 国語
(2)得意なこと : キッカーをすること
(3)将来の夢 : キッカー選手になりたい

真紀子(Makiko)の紹介
(1)好きな教科 : 英語
(2)得意なこと : ピアノをひくこと
(3)将来の夢 : 中国に行きたい

雄二(Yuji)の紹介
(1)好きな教科 : 数学
(2)得意なこと : コンピュータを使うこと
(3)将来の夢 : 数学の先生になりたい

【発表原稿】

紹介する友だち 健太(Kenta)・真紀子(Makiko)・雄二(Yuji)
※選んだ人を○で読みなさい。

I'll talk about (紹介する友だちの名前) .

(1) _____

(2) _____

(3) _____

※解答は、必ず解答用紙に書きなさい。

※学習シート等との関連
英語ライティングシート IIIテーマ作文編

これまでの調査結果との比較

成果

○課題が見られた国語の表現技法や算数・数学の用語の意味理解など、基礎的・基本的な知識や技能に関する問題について、改善傾向にある。

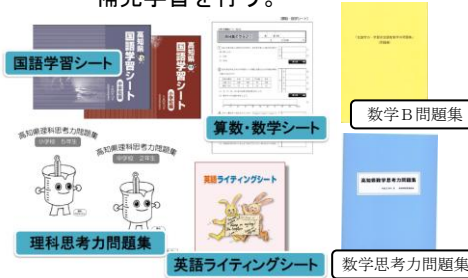
課題

●複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには前回調査に引き続き課題が見られる。

次の学年を迎える前に 今、やっておくこと

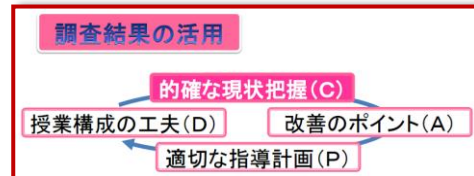
子どもたちのよさを生かし、 さらに充実・発展させるための取り組み

- 1 子どもたち一人一人の成果と課題を把握し、適切な指導を行う。
(例) 学習シート等を活用した個別指導や補充学習を行う。

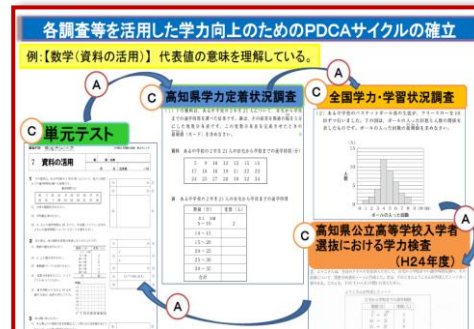


- 3 組織としての協力体制を確かにし、授業改善の方向性を明確にもち、その質を高めていく。
(例) 誤答分析を行い、子どもたちの強み・弱みから改善のポイントを明らかにする。
(各学校や小中連携における分析)

- 2 調査を活用した検証改善サイクルを確立する。



(例) 数学科における調査等を活用した一例



(例) 各教科で身に付けさせたい力の定着を図り、指導方法の工夫改善を行う。

次ページの『調査結果の分析から授業改善へ』を使って、各校の取り組みを進めましょう

読み解く力・説明する力・記述する力等を 育てていく授業づくりを大切にしましょう

- ・子どもたちの「なぜかな?」(入口)が「なるほど!」「もっと知りたい」(出口)になるよう学習過程を大切にした授業
- ・何を指導すべきかを明確にし、指導した内容が身に付いたかを評価する学習指導のPDCAサイクルを生かした授業
- ・自分の考えを、根拠をもって表現し、他者との交流を通して深めることのできる授業

学力向上に向けてこれだけは大切にしたい 授業づくりのポイント

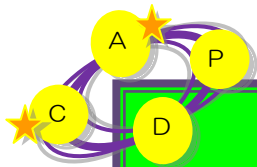
授業中に

- 一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。
- 二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。
- 三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。
- 四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。
- 五、学習したことの振り返りの場を設定する。

日常的に

- 六、学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。
- 七、すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。
(すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓など)
- 八、あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。





調査結果の分析から授業改善へ



調査実施後すぐに	自校採点による 課題把握	<input type="checkbox"/> 調査が終わったら、すみやかに採点を行い、児童生徒の定着状況を把握する。	→ 学級担任や教科担任だけでなく、学年団や学校全体で採点をし、子どもたちの実態を全体で把握する。
		<input type="checkbox"/> 教科全体や教科の観点別の正答率の状況を確認する。	→ 各教科で課題を抽出し、手立てを考える。
		<input type="checkbox"/> 設問ごとに正答率を見て、どの設問に課題が見られるのかを確認する。	
結果返却後	検証・実践	<input type="checkbox"/> 自校採点の結果から、その要因について分析を行い、今後の授業等での取り組みを確認する。	→ 学校全体で分析を共有し、全ての教科で今後の手立てを考え、取り組む。
		分析	<input type="checkbox"/> 正答率が高かった問題について、取り組みの「何に効果があったのか」という視点から分析を行う。 <input type="checkbox"/> 正答率が低かった問題について、「なぜできなかったのか」「どこにつまずいているのか」という視点から解答類型を活用し、課題を分析する。
	改善策	<input type="checkbox"/> 課題の見られる指導事項を定着させるため、「いつまでに・何を・どうするのか」ということを含む具体的な目標を設定する。 <input type="checkbox"/> 指導方法や学習活動にどのような工夫をすればよいかを具体的に考える。	→ 日々の授業の中ですぐに対応できるものについては、具体的な手立てを年間指導計画に反映させ、即時的に実施する。
日々の授業で	実践	<input type="checkbox"/> 知識を定着させるために授業展開を工夫する。 <input type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等を身に付けさせるために指導方法を工夫する。	→ 教科の枠を越え、各教科で課題に対応できるように取り組む。
	検証	<input type="checkbox"/> ノートやレポートへの記入状況から子どもたちの変容を分析する。 <input type="checkbox"/> 評価問題として学力定着状況調査問題や学習シート等を使い、指導改善の取り組みの効果を分析する。	→ 改善策の効果を分析し、指導内容の定着を捉える。
年度末に	検証結果の反映	<input type="checkbox"/> 実践の検証を踏まえ、次年度の年間指導計画を見直す。	→ 即時的な対応が難しいものは、年間指導計画を見直し、継続して指導を行う。

上記の取り組みを参考に、短期的なP D C Aサイクルを積み重ね、課題に対して迅速に、きめ細かく対応していきましょう。

